

## 「”家族の一員として迎える”セルラスのホームステイ受け入れ交流」

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」第53号—

こんにちは。NPO 法人 多言語広場(ピアザ)CELULAS の山田です。(以後セルラスと表記します)

この夏、関東・関西で、たくさんの家族が、様々な国の方のホームステイ受け入れをしています。

「家族の一員として迎える」というセルラスのホームステイ交流の一つ一つの

出会いは、本当に個性豊かでかけがえのないものです。

心温まるエピソードなどもたくさんある中で、今回は、

「相手に向き合うこと」について見つけたことをご紹介します。

---

### 【目次】

《1》「ホームステイ受け入れで感じた子供たちの成長」

《2》「ことばの違いを越えて相手と向き合う大切さ」

《3》セルラス インフォメーション

---

#### 《1》「ホームステイ受け入れで感じた子供たちの成長」

受け入れ国:メキシコ

神奈川県横浜市在住 藤原さん(家族構成: 夫、小5 長男 小3 次男)

メキシコから来た大学生には仕切られているスペースを用意したのですが、  
彼はそのスペースにこもることはほとんどなく、家族と同じ空間で時間を過ごしてくれました。  
子どもたちと遊んでくれて、「一緒にお風呂に入りたい! 一緒に寝たい!」  
というリクエストにも笑顔で応じてくれて、兄弟のように過ごした1泊2日でした。

私が大変そうだと「ママ、大丈夫?」と声をかけて気遣ってくれたり、  
私がたいしたことをやってあげたわけでもないのに「ママ、ありがとう」と  
笑顔で言われ、こちらまで幸せな気持ちになりました。

彼は、日本語は上手だったけど、やはりこちらの言うことを100パーセント  
理解できるわけではありませんでした。そんな中で小5の長男が、  
自分が話すときはわかりやすい日本語に直して話しかけていることに  
気づきました。相手の立場を考えて伝えようとしている子供の成長を感じ、嬉しく思いました。

#### 《2》「ことばの違いを越えて相手と向き合う大切さ」

受け入れ国:イギリス・メキシコ

兵庫県神戸市在住 山田さん(家族構成: 夫、中2 長女 小3 長男)

イギリス人の学生は、笑顔がキュートで、いろんなことに挑戦してくれる子でした。  
私たちの生活に習いたいので、普段どのように過ごしているのかを詳しく聞いてきたり、  
自分の意見もしっかり伝えてくれるなど、  
お互いの要望を伝え合うことができ、スムーズにホームステイが過ぎ、  
「さすが、イギリスの有名大学の学生!コミュニケーション力がある!」と思っていました。

しかし後から考えると、彼女は一言も日本語を話そうとはせず、  
全て英語だけで話していて、英語が得意ではない主人と子供たちとの  
コミュニケーションは少なく、距離はあまり縮まりませんでした。  
また会話でのコミュニケーション以外に、言語の壁を超えて家族と  
仲良くなろうという気持ちがあまり伝わってこなかった気がして、残念でした。

そのすぐあと、メキシコの高校生を受け入れる機会がありました。  
その子との会話は、お互い日本語と英語とスペイン語ごちゃ混ぜで、  
会話でのコミュニケーションはスムーズにできないこともありましたが、  
感謝の気持ちや私たちと仲良くなろうという気持ちが伝わってきて、  
家族みんなが彼女に心を開くことができたように感じました。

この二つの受け入れで、言語の違いを越えて相手に向き合い、  
ことばの向こうにある気持ちを伝えようとする事の大切さに気づくことができました。

---

いかがでしたでしょうか? セルラスのホームステイの受け入れは、  
お客様としておもてなしする、というのではなく、  
「自分の家に家族が一人増えた」と考えて受け入れることを基本としています。

また、受け入れは原則として無償ボランティアです。その理由は、  
お金が支払われることによって「これだけ払っているのだから」と、  
家族のもてなしに対価を求める場合もあるなど、温かい交流が  
期待できなくなることを避けるためであったり、また家族として迎え、  
お互いにお世話になったりする関係はお金でカウントできるものではなく、  
受け入れ家族にとっても、多文化・多言語理解など、お金には代え難い  
沢山の学びのチャンスとなり、何よりも人とのつながりを大切にしたいと交流を  
したいと考えているからです。

### 《3》 セルラス インフォメーション

#### ◆ ホリデースーパーピアザのお知らせ

セルラスでは、夏のホームステイ交流、青少年サマーキャンプ、ホームステイ受け入れなどに  
チャレンジしてきた人たちのワクワクドキドキが疑似体験できる報告会を行います。

もちろん、他にもいろいろなピアザの人たちと交流できる楽しいプログラムが満載です。  
セルラスの夏を締めくくるこの9月のホリデースーパーピアザにぜひご参加ください。  
参加ご希望の方は、各地域のコーディネーターか事務局までお問い合わせください。

▼関西

9/3(日) 午後 尼崎市園田地区会館

▼関東

9/24(日)午後 地域交流センター代々木の杜

詳しくは各地域のコーディネーターまたは本部事務局まで⇒ 03-5333-8202

[E-mail:info@celulas.or.jp](mailto:info@celulas.or.jp)

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

第7号が発行されています。中高生たちがリーダーズトレーニングキャンプで「見つけた事」が特集になっています。

ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。

⇒ <http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

\*\*\*\*\*

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した『多言語教育講演会・セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、

より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントや講演会などのお知らせを、月2回の予定でお届けします。